

「日医標準レセプトソフト」

様式 4 作成対応

2015 年 11 月 25 日

(初版)

公益社団法人 日本医師会

1. 様式4について

平成27年度「DPC導入の影響評価に係る調査」実施説明資料の様式4「医科保険診療以外のある症例調査票」について日レセで作成可能とします。(平成27年11月25日のパッチ提供で対応)
 ※様式4の詳細は「平成27年度DPC導入の影響評価に係る調査関連情報」

<http://www.prrism.com/dpc/15dpc.html>

の調査実施説明資料を参照してください。

2. 様式4の帳票作成

処理の実行は業務メニューから「44 総括表・公費請求書」押下で遷移する「(T01)総括表・公費請求書作成」画面から行います。(他業務での事前処理は不要です。)システム管理「9102 EFファイル作成」のEFファイル用データ作成が「1 データ作成する」

に設定されている時、「9 様式4」が選択可能となります。

「(T01)総括表・公費請求書作成」画面の診療年月欄に処理対象とする退院年月を入力し、出力するファイルの種類を「9 様式4」を選択後、shift+F6「様式4」を押下し、帳票の出力を行ってください。

「9 様式4」を選択すると shift+F6 のボタン表示が「E・F」から「様式4」に切り替わります。入外区分についても自動で「1 入院」に切り替わります。

「(T01)総括表・公費請求書作成」画面

様式4には以下の項目を記載します

施設コード	都道府県番号（2桁）＋医療機関コード（7桁）
データ識別番号	患者番号（システム管理「9102 E Fファイル作成」のデータ識別番号記録が「1 患者IDを記録する」設定時は患者IDを出力します）
入院年月日	患者の入院年月日（西暦8桁）
退院年月日	患者の退院年月日（西暦8桁）
医療保険外との組合せ	1～5を記録

・医療保険外との組合せ：以下のコードを記載

コード	区分	内容
1	医科レセプトのみ	医科レセプトのみの場合
2	歯科レセプトのみ	歯科レセプトのみ、医科レセプトと歯科レセプトの併用（日レセでは歯科の入力が出来ないことから対象外）
3	保険請求なし	他制度（治験、公害レセ、労災レセ、自賠責）のみ、正常分娩自費のみ（人間ドック等）
4	保険と他制度の併用	公害レセ、労災レセ、自賠責と医科レセプトの組合せ
5	その他	上記1～4以外の症例（正常分娩→異常分娩のように自費と医保の混在等）

様式4は入院年月日の昇順で作成します。

公費のみの診療はシステム管理「9102 E Fファイル作成」の公費のみのレセプトが「0 E F記録する」に設定されている場合に出力対象とします。

月内で退院が複数回となる患者は、退院の回数分記載します。

出力はシステム管理「1031 出力先プリンタ割り当て情報」の「総括表／保険請求書」に設定されているプリンタから行い、同時にCSVファイル出力も行います。

【自費コードの取扱いについて】

自費コード（095XXXXXX, 096XXXXXX等）について、自費保険で入院されている期間については、産婦人科等の正常分娩による入院で「入院料」「食事等」全ての診療を自費コードで入力される場合を考慮して自費入院として取扱いますが、調査実施説明資料のQ&Aに、「医療保険外との組み合わせ」は医科保険の適用範囲（入院料や手術等）を指し、オムツ代等は自費とはいわないことから、医療保険での入院期間中に「.950」「.960」を宣言して入力された自費コード（095XXXXXX, 096XXXXXX等）は医科保険の適用範囲外として判定対象から除外しています。

なお、「.950」「.960」を宣言してレセ電コード（入力されたコードの先頭1桁が1, 6, 7）を入力された場合は自費診療分として判定対象に含めます。

様式4	平成27年10月退院	医科保険診療以外のある症例調査票	作成日：H27.11.25	P. 1
施設コード	データ識別番号	入院年月日	退院年月日	医療保険外との組合せ
131311111	0000000033	20151001	20151003	3
131311111	0000000010	20151001	20151003	5
131311111	0000000034	20151018	20151025	4
131311111	0000000001	20151025	20151031	1

様式4記載例

3. 様式4のファイル作成

出力形式はCSVファイルとし、出力項目は帳票記載内容と同じです。
出力するファイルの日本語コードはシフトJISとなります。

施設コード	データ識別番号	入院年月日	退院年月日	医療保険外との組合せ
131311111	0000000033	20151001	20151003	3
131311111	0000000010	20151001	20151003	5
131311111	0000000034	20151018	20151025	4
131311111	0000000001	20151025	20151031	1

様式4ファイルの記録例

ファイル出力先は「4 システム管理場所設定場所 (MO用)」、「5 クライアント保存」が選択可能です。(クライアント保存は職員情報でクライアント保存可となっている場合のみ選択可)

【ファイル出力先が「4 システム管理場所設定場所 (MO用)」の場合】

システム管理「9102 EFファイル作成」で設定した、EFファイル用ディレクトリに出力されます。(未設定時は/var/tmp/ に保存)

ファイル名 %FF4_@@@@@@@@_yyymm.txt

%% : 医療機関識別番号

@@@@@@@@ : 施設コード

yyymm : 退院年月

(システム管理場所に出力する場合は、ファイル名の先頭に医療機関識別番号(数字2桁)を付加する。)

【ファイル出力先が「5 クライアント保存」の場合】

クライアント保存時に指定した場所に保存します。

ファイル名 FF4_@@@@@@@@_yyymm.txt

@@@@@@@@ : 施設コード

yyymm : 退院年月